企業自らが売上高100億円の目標を設定し、実現に向けた取り組みなどを示す「100億宣言」。中小企業庁と中小企業基盤整備機構が推進する制度で、宣言企業は補助金を活用できるなどのメリットがある。現在は全国3560社が宣言しており、うち県内は30社が承認を受けて公表され、成長に向けた取り組みを進めている。

県内30社 売上高100億円宣言

グランディア芳泉

「あわら温泉引っ張る」

今後の意気込みなどを語る山口常務＝あわら市のグランディア芳泉で

県内のうち、あわら市の旅館「グランディア芳泉」は今年4月に承認を受けた。山口高澄常務(38)は「温泉旅館は世界に向けて日本が誇りを持って発信できるコンテンツ」と自信を見せる。2025年8月1日～26年7月末の連結売上高は約36億円。目標は32年までに100億円の達成を掲げる。

複数施設の展開や運営受託 視野

宣言では、複数施設の展開や運営受託、「温泉旅館学校」を開校して宿泊業人材の育成・確保、働きやすい環境整備などを柱にする。デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進のほか、世界基準のブランド確立を図っていくとしている。

採用や人材育成、生産性向上、販売促進、設備リニューアル、商品開発などでノウハウを蓄積してきた。山口常務は「まだまだ課題はある。解決しながら、培ったノウハウも活用して、宿泊業において日本全体、福井県、あわら温泉を引っ張る使命を果たしたい」と意気込んだ。

（中場雅己）